

平成29年度

事業報告書



一般社団法人

電動車両用電力供給システム協議会

Electric Vehicle Power Supply System Association : EVPOSSA

平成 29 年度 事業 報告

当協議会は平成 24 年 4 月に設立し、本年で満 6 年を迎えることができました。これもひとえに会員企業の皆様、行政及び関係団体の皆様の温かいご支援の賜物であり、関係各位の皆様方に深く厚く御礼申し上げます。

当協議会は設立以来、「電動車両用電力供給システムにかかる諸課題を議論し、必要な取り組みを実施する」を目的に積極的かつ円滑な事業運営に取り組んできました。

平成 27 年度に策定した「EVPOSSA インフラビジョン」を基本方針に他団体の関連検討会・委員会への参画、行政（地方自治体含む）が主催する検討会及び協議会等への参画で EVPOSSA の認知度向上や普通充放電設備の普及に向けて、積極的な活動に努めてきました。

平成 29 年度は世界的な「EV シフト」の動きが業界で取り上げられました。当協議会が独自に行っている会員企業を対象にした「普通充電設備の出荷自主統計」における充電ケーブル搭載 AC 普通充電器 (Mode3) の出荷台数は平成 30 年 3 月末現在で、前年度の 106% と増加に転じました。ただ、「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」にかかる補助金は減額傾向となっております。今後は補助金に頼らない普通充放電設備の普及が望まれているところであり、当協議会では今後の環境変化を想定し、取り組みを推進しております。

平成 29 年度の主な活動成果は以下の通りです。

企画運営委員会では、「長期的視点での充電インフラの新たな価値・市場創出」や「各種電動車両の特徴にあった充電器、充電サービスのあるべき姿のユーザー目線での提言」を目的として、充電器設置者やユーザー情報を収集整理し、次年度の企画運営委員会および普及促進部会への取組み課題へ反映しました。

技術課題検討部会では、関係団体と連携し、設計参考資料やガイドラインの改定を行うと共に、電気設備学会「普通充電器 EMC 環境に関する調査研究委員会」へ委員を派遣し、「普通充電器 EMC 環境に関する調査研究報告書」作成に貢献しました。

普及促進部会では、前年に引き続き「EVEX2017」に出展し、認知度向上に努めました。また、充電器設置事業者との意見交換会を開催し、充電器導入から運用にかかる諸課題の共有を行いました。

今後とも関係各位のご支援に報いるべく、当協議会では安全・安心・互換性が確保された普通充放電設備の普及促進に向けて各種活動を更に加速・充実させてまいります。

本事業報告書においては、上記の活動の紹介を始め、取り組みの状況等を記載しております。

当協議会会員の皆様はもとより関係各位のご理解を頂き、これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも従来以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1. 理事会・総会開催状況

(1)【第18回理事会】平成29年5月22日(月)

航空会館2階/204会議室

審議事項

第1号議案 平成28年度事業報告書(案)

第2号議案 平成28年度決算報告書(案)

第3号議案 理事の選任にかかる候補者

第4号議案 平成29年度定時総会招集

第5号議案 新規入会審議

(2)【平成29年度定時総会】平成29年6月23日(金)

航空会館地下/B101会議室

審議事項

第1号議案 平成28年度決算報告書(案)

第2号議案 理事の選任

報告事項

報告事項1 平成28年度事業報告

報告事項2 平成29年度事業計画

(3)【第19回理事会】平成29年6月23日(金)

航空会館2階/204会議室

審議事項

第1号議案 代表理事選定

(4)【第20回理事会】平成29年12月7日(木)

明宏ビル別館/INOTEK大会議室

審議事項

第1号議案 EVS31(国際電気自動車ショールーム&展示会)出展に関する件

報告事項

報告事項1 平成29年度上期運営状況の報告

企画運営委員会活動状況の報告

技術課題検討部会活動状況の報告

普及促進部会活動状況の報告

会員入会状況の報告

予算書執行状況の報告

(5)【第 21 回理事会】平成 30 年 3 月 22 日 (木)

明宏ビル別館/INOTEK 大会議室

審議事項

第 1 号議案 平成 30 年度事業計画書 (案)

第 2 号議案 平成 30 年度収支予算書 (案)

第 3 号議案 企画運営委員会委員長および副委員長の選任

第 4 号議案 検定委員会 委員長の選任

報告事項

報告事項 1 部会役職者の選任報告

2 . 委員会・部会活動状況

(1)【企画運営委員会】

当協議会の事業目的を遂行する理事会の補佐機関として、理事会提出議案 (事業計画書案、収支予算書案、規程制定、改訂案等) の検討、協議会組織および運営に関する検討等で 12 回開催すると共に、企画運営委員会直下に「市場創出 WG」および「充電サービス WG」を立上げ、以下の活動を行ないました。

活動内容

充電インフラおよび V2H の新たな価値・市場創出のため、業界関連団体へのニーズ調査の計画を進めました。

充電器や充電サービスにかかるユーザー目線での要望に関する調査を普及促進部会と共に推進しました。

国及び自治体、団体の検討会等への参加

【経済産業省】

ERAB 検討会 2 回

【大阪府】

次世代自動車普及推進協議会 2 回

【一般財団法人日本自動車研究所 (以下「JARI」)】

国際電気自動車シンポジウム & 展示会 (EVS31) における

組織委員会 2 回、実行委員会 9 回

電池分科会 1 回

【一般社団法人エコーネットコンソーシアム】

「ECHONET-Lite 仕様拡張検討 WG」での規定・仕様書に関する審議対応

主な審議事項等

第 18 回、第 19 回、第 20 回、第 21 回理事会議事案件の審議

平成 29 年度定時総会議事案件の審議

「市場創出 WG」および「充電サービス WG」発足審議及び主査の選任

平成 30 年度事業計画書(案)の策定および平成 30 年度収支予算書(案)の策定と審議

企画運営委員会および検定委員会の委員長・副委員長(案)の審議

新規入会会員(株式会社東光高岳)の一般正会員への入会審議

国および自治体、関係団体開催の検討会・WG 等への参加者の審議

EVEX2017 展示会出展の審議

普通充電器の EMC 環境に関する調査研究委員の選出審議

充電器設計参考資料 - 設置・施工 - の審議

コンセント・盤収納寸法ガイドライン策定にかかる知財の扱い審議

コンセント・盤収納寸法ガイドラインの改定審議

国際電気自動車シンポジウム EVS31 出展に関する会員アンケートの実施と結果確認

EVS31 出展に関する検討および審議

大阪府主催次世代自動車普及推進協議会 EV・FCV 部会参加者の決定

出荷自主統計実績の定期確認

出荷自主統計実施細則の改定審議

JEITA スマートホーム部会への参画審議

WG 等の活動状況

【市場創出 WG】

「充電インフラおよび V2H の新たな価値・市場創出やビジネスモデル提案」を目的に WG を 8 回開催し、市場の新たなニーズ調査を計画。調査すべき事項や対象を整理し、次年度の企画運営委員会への取り組み課題に反映しました。

【充電サービス WG】

「各種電動車両の特徴にあった充電器、充電サービスのあるべき姿のユーザー目線での提言」を目的に WG を 5 回開催。その後、普及促進部会と連携して、設置事業者との意見交換会を開催し、次年度の企画運営委員会及び、普及促進部会への取り組み課題に反映しました。

【ECHONET-Lite 仕様拡張検討 WG】

一般社団法人エコーネットコンソーシアムでの平成 29 年 8 月末の公開に向けて、機器オブジェクト詳細規定および AIF 認証仕様書・認証試験仕様書に関する審議問合せ対応を実施しました。

(2)【技術課題検討部会】

電動車両用電力供給システムのあり方、課題、新技術対応等を検討する部会として、12 回開催し、以下の活動を行いました。

第三者認証制度の課題解決と会員の認証取得の推進

互換性確保の取り組み継続

- ・トラブル情報の収集を行うことにより、互換性問題発生を注視しておりましたが、互換性に関するトラブル情報はありませんでした。

認証取得推進

- ・外部委員会等への委員を派遣し、関連業界の動向をタイムリーに部会内に展開しました。

< 外部参加委員会 >

- | | | |
|----------------|-----|-------|
| ・電池充電標準化 WG | ・・・ | 7 回出席 |
| ・JWG TC57-69 | ・・・ | 6 回出席 |
| ・WPT インフラ推進連絡会 | ・・・ | 3 回出席 |

AC 普通充電器普及促進に向けた活動の推進

各種規格、基準等の改定に伴う意見募集への対応

- ・国土交通省 公共建築工事標準仕様書の改定に伴う 1 次意見募集に対し、1 件の提案を行いました。
- ・国土交通省 公共建築設備計画基準 設計基準の改定に伴う 3 次意見募集に対し、3 件の提案を行いました。

各種 JWG に積極的に参加し、普通充放電設備の普及促進への貢献

- ・電気設備学会 普通充電器の EMC 環境に関する調査研究委員会
・・・ 8 回
- ・V2H/L 改定 JWG ・・・ 1 回

発行文書の策定・見直し

) EVP-T001 コンセントスタンド・コンセント盤 収納寸法ガイドラインの改定

- ・部会委員及びトラブル事例からの提案をもとに改定の要否を検討した結果、最新の情報を収集し改定を行うことを決定しました。
- ・一般社団法人日本自動車工業会、日本自動車輸入組合にもご協力いただき、最新情報の収集を行いました。
- ・最新の情報をもとに規定項目及び規定値の見直しを行い、第2.0版として発行しました。(平成30年2月14日発行)

ホームページで無償公開

) EVP-T005 設計参考資料 - 設置・施工 - の策定

- ・昨年に引き続き、設計参考資料に記載する内容の審議を行い、第1.0版として発行しました。(平成29年9月19日発行)

ホームページで無償公開

) その他発行文書見直し必要性確認。

- ・その他発行文書の記載内容を確認し、現時点では見直しの必要がないと判断しました。

会員のための情報発信の充実

- ・新たに6件の品質トラブル情報を収集し、会員企業への情報共有を図りました。

(3)【普及促進部会】

電動車両用電力供給システムにかかる、安全・安心・互換性が担保された普通充電器の普及を促進する部会として、12回開催し、以下の活動を行いました。

充電インフラの市場拡大

充電器市場の活性化

- ・普及促進プロジェクトチームは、企画運営委員会の充電サービスWGと連携し、経済産業省のご協力を得て意見交換会を実施しました。

調査・企画活動

- ・制度面からの市場拡大推進として、充電器にかかわる制度/規則面の要望を抽出した内容をまとめました。短期的には補助金への要望、

長期的には規則緩和への要望について経済産業省と意見交換を行いました。また、経済産業省のご協力・ご参加を得て充電器の設置業者を交えた意見交換会を実施し、次年度以降への普及促進の課題に反映しました。

個別市場の課題解決・整備の促進

- ・「既設マンションへ充電器設置が進まない要因と対策」について、導入事例を作成しました。次年度は事例収集に加え提案モデルの検討を行います。
- ・勤務先充電普及のためのガイドラインの作成について、実態調査を実施しました。来客用やデモ用に充電器を設置している例が多く、勤務先充電の要望や範例が少なく、現状では、ガイドラインの作成は難しいと判断しました。
- ・充放電システム導入モデルの検討では、案件数が限られており、次年度も引き続きモデルの検討を行います。

ユーザーの利便性の向上

ユーザー目線での情報発信

- ・ホームページに、充電器一覧など整備をし、FAQ・用語集では追加情報等をあらたにアップし、ホームページの充実を図りました。

トラブル事例の情報発信(共有)

- ・会員各社より頂いたトラブル情報と、Webの口コミによるユーザー目線でのトラブル情報を収集、整理を実施し会員各社と共有を図りました。今後、整理した情報の展開を進めます。

JARI 認証制度の啓発

- ・JARI ホームページや展示会等による認証制度の紹介、及びEVPOSSA ホームページへのリンク、製品認証取得企業ホームページとのリンクによる認証制度情報の展開を行いました。

関係団体（企業含む）との連携

他団体・企業の取組み事例紹介及び情報交流

- ・国土交通省の『出前講座制度』を活用して「環境対応車を活かしたまちづくり」につき、ご講演頂きました。また、立体駐車事業者より「機械式駐車場へ普通充電対応について」についてご講演頂きました。

EVPOSSA の価値向上

発信力の強化

- ・9月13日～15日に開催された「EVEX（EV・PHV 普及技術展）2017」に一般社団法人次世代自動車振興センターと共同出展をしました。会員企業 9 社により充電器及び充電器用コネクタなどを展示し、EVPOSSA の認知度向上を図りました。来場者にアンケートを実施し、EV 車および充電器の利用状況や購入意志などをヒアリングしました。また、「全国 EV・PHV 充電マップ」を使用し充電ステーションの位置を知る体験コーナーを設置しました。

3 . 会員の状況（平成 30 年 3 月 31 日）

会員数	33 会員
幹事正会員	6 会員
一般正会員	25 会員
賛助会員	2 会員

	幹事正会員	一般正会員	賛助会員	小 計
関東地区	4	13	2	19
中部地区	1	7	0	8
近畿地区	1	3	0	4
九州地区	0	2	0	2
合 計	6	25	2	33

以上